

猫崎半島ハイキングコース

竹野浜に突き出した猫崎半島は兵庫県最北端の地。

その先端には灯台があります。最北端の地、猫崎灯台を目指してハイキングに出かけましょう。先端からは270度の景観が展望できます。猫崎半島西側にある波で浸食されたポットホールや貝やゾウの足跡の化石などを楽しみながら歩くハイキングコースは見どころいっぱい！

- 1 竹野子ども体験村を西へ出発し猫崎半島を目指し歩いていく。沖から見ると猫がうずくまっているよう見えるため猫崎半島と言う。一方、道路側から見るとキューピーに似ていることから地元の人には「キューピー半島」の愛称でも親しまれている。
- 2 道中には「日本の渚100選」「日本快水浴場100選」にも選ばれている「竹野浜海水浴場」が広がっており、猫崎半島までは東西全長800mに広がる砂浜の海岸線沿いの遊歩道を歩いて五社駐車場までいく。現在、この付近は竹野川の河口、漁港となっているが、江戸時代には嵐を避ける北前船の風待ち港でもあり、猫崎半島の東側は北西季節風の陰になり、当時は暴風を避けることができる風待ち漁港となっていた。
- 3 五社駐車場を通り抜け、100mほど進むと、猫崎半島西側入り口に到着する。ここからは西側の海岸沿いを歩くことができ、磯場を歩いていく。足元は岩肌が海水で濡れていたり、海藻が付いている箇所があるので、滑らないように十分注意をして歩くこと。
- 4 先を進めば日本海の荒波で削られた波食棚「甌穴(ポットホール)群」を見る事ができる。この甌穴は兵庫県の天然記念物に指定されており、さらに進むと海岸の波食棚の上にはゾウ・シカや約2,000万年前にアジア大陸に生息していたステゴロフォドンの足跡化石を見る事ができる。
- 5 更に進むと海岸沿いは舗装されており、磯場帯には韓国、中国、ロシアなどから海岸に漂着した漂着ゴミなどが打ちあがるエリアでもある。
- 6 西側海岸エリアを歩いていくと、右側に最初の階段が見えてくる。その階段を登ると猫崎半島入口に到着。ここはトイレがある最終地点となる。入口からは目的地の灯台がある猫崎半島先端までは1本道で、遊歩道を縦走り歩いていく中級山道コースになっている。
- 7 入口地点からはアスファルトで舗装された緩やかな上り坂になっており、10分程歩くと「賀嶋公園」に到着する。夏季には海から上がる「朝日」、海に沈む「夕日」を眺める事ができる日本海展望公園となっておりベンチもある。その先からは自然歩道になっており、いくつもの「お地蔵様」が見える。これらは大正6年、地元の船頭などが寄進したものであり「四国霊場88ヶ所」にちなみ、遠く離れた四国の地まで参拝できない人のために猫崎半島には87体並べられている。88番目は竹野浜の集落にある龍海寺の境内に奉納されている。
- 8 更に進むと最後のお地蔵様が置かれている「奥の院」がある。「奥の院」から山頂までの道のりは20分程でいけるが、ここからは傾斜がきつ、石階段などもでてくる登坂となるのでトレッキングシューズや帽子、タオルや飲料などが必要だ。
- 9 山頂(141.4m)の広場で休憩を取り、石階段を降りていく。この下り坂も大変傾斜があるので、ゆっくり慎重に降りる必要がある。
- 10 山頂から傾斜を下ると栈橋が見えてくる。海拔80m程に掛けられた栈橋からは日本海の絶景や猫崎半島断崖に垂直方向に伸びた割れ目の地層「流紋岩」の岩石を見る事ができる。これらは今から1800万年前ごろの水中にたまってできた地層が隆起し、その上に溶岩が流れてできたものと考えられており、栈橋の上では記念撮影スポットにもなっている。
- 11 栈橋から5分程歩けば、兵庫県最北端である目的地「猫崎灯台」に到着する。東側は近畿地方の最北端「丹後半島経ヶ岬」から西は香美町の「伊笹御崎」まで、270度に広がる日本海の雄大なパノラマの景観を眺める事ができる絶景スポットだ。



- 難易度：★★☆
- トイレ：北前館・五社駐車場・猫崎半島入口
- アクセス：
 - ・バス：JR竹野駅→全但バス(竹野海岸線)→バス停停留所(竹野浜下車)→徒歩(5分)→[竹野子ども体験村駐車場]
 - ・車：竹野子ども体験村駐車場
- 問合せ：たけの観光協会
TEL:0796-47-1080

距離(約)

(片道) **2.3km**
(往復) **4.6km**